

オプトアウト用公開文書

研究課題：眼窩吹き抜け骨折に対する視能訓練の効果について

研究目的：眼窩吹き抜け骨折に対する視能訓練の効果について、訓練前後の融像野を比較し検討します。

研究方法：近畿大学医学部附属病院で、形成外科手術後に眼窩吹き抜け骨折に対する視能訓練を実施した患者様のうち、HESS 赤緑試験と両眼単一視野検査を実施していた患者様の電子カルテに記載のある診療記録、検査データについて検討します。他の機関への情報の提供は行いません。また情報を二次利用することはありません。

調査対象期間：2013年8月から2017年7月

研究実施期間：倫理委員会承認後2年間

調査項目：カルテから医学的背景に関する内容を調査します。

年齢、性別、診断名、随伴疾患、形成外科での手術歴と術式、画像診断検査、視力、視力矯正値、屈折値、調節検査、両眼視機能検査、眼球運動検査、眼位検査、輻湊検査、眼位写真、両眼単一視野検査、視能訓練の実施期間と内容

個人情報の取り扱い：個人が特定できる情報は削除いたします。また研究成果は学会等で行う予定ですが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

研究責任者：梅原 郁美（近畿大学医学部附属病院 眼科）

問い合わせ先：近畿大学医学部附属病院

〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221（代表）

担当者：梅原 郁美

当該研究に用いられることについて患者様のご了承をいただけない場合には研究対象といたしませんので、上記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。